

事業所自己評価 児童発達支援評価表

公表日： 令和6年3月12日

事業所名：児童発達支援 児童発達支援 ワンハート

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	5	折り畳み机などを使用し、スペースを確保している。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	5	職員が多い分子どもと手厚く関わることができる。	
業務改善	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5	5	四角的に分かりやすくしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	5	5	毎朝掃除・消毒をしている。	
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	5	職員会議で課題の見直しをしている。毎日振り返りを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			
	7 事業所向け自己評価評価表及び保護者向け評価表を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の評価の質及び改善の内容を、事業所の開示ホームページ等で公開しているか	5			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	事業所間で連携を取り、気づいたことを伝えあっている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	4	1		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	5		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	5	朝礼や会議で月間の活動を決めている。	
	15 活動プログラムが固定化しないように工夫している	5	5	固定化しないように月間スケジュールを作っている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	5			
	17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	5	朝礼時に確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有している	3	2	記録を描きながら伝えあっている。振り返りは朝朝。	
	19 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	5	気づいたことを記録として残している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子の状況に精通した最もふさわしいものが参画している	5	5		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	5	保健師さんが見学にいられます。	
	23 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2		
	24 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	3		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	5	交流しながら情報交換している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	3	小学校には入っていないが、	
27 都の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	5	情報を共有している。司会席の研修に参加している。		
28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のないこどもと活動する機会がある	5	5	行事として今後交流していきたい。		
29 「自立支援」協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	4	1			
30 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	5	送迎時に伝える。		
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っている	1	4			
32 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	5			
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	5			
34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	5			
35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援している	4	1	念に一回行っている。		
36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	5			
37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	5	個別に写真付きで情報を伝えている。		
38 個人情報の取扱いに十分注意している	5	5			
39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	5			
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5			
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	5		
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	2	訓練の回数を増やしたい。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	5		
	44 食料アレルギーのある子どもについて、意志の指示書に基づき対応がされている	2	3	食事の提供がない	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	5		
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	5		
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	3	2		